

アイの四季だより

アイセレモニー株式会社

相談室 三水村普光寺969-1 (高野農機様となり)
 営業本部 ☎026-253-1377 FAX253-1378
 飯綱ホール 牟礼村黒川2415 ☎253-1377
 五岳ホール 信濃町古間93 ☎251-7155

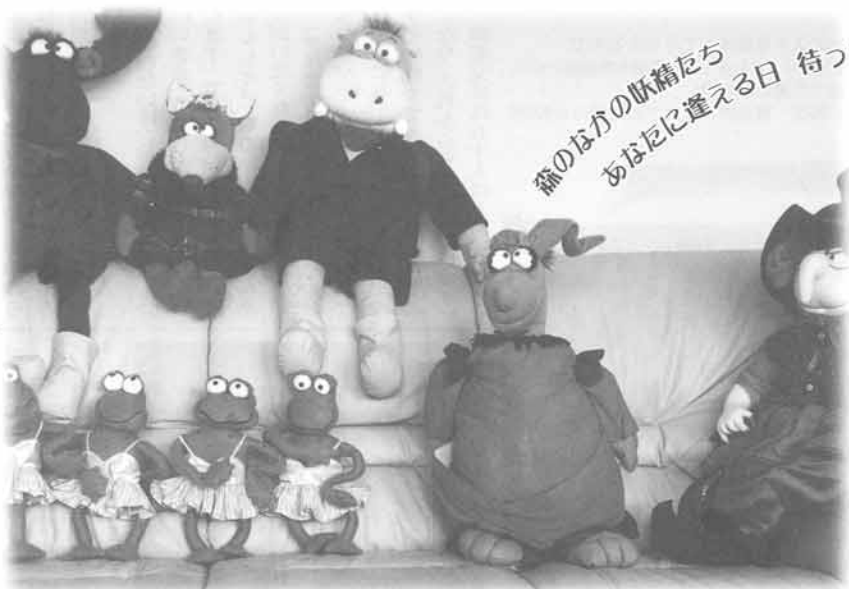
フリーダイヤル ☎0120-796-311

牟礼村 三水村 信濃町 豊野町 長野市——皆さまのお手もとへお届けいたします

グラジオラス
花ことば 用心・堅固。花の色は、白、淡桃、紅、淡黄、紫色。



可愛いカエルがウエディングドレスを身にまとい、いまにもカエルのダンスが始まりそう。カバさんもトナカイさんも、大きなからだにランドセル背負って、仲良く一年生。メルヘンの世界だから自由奔放につくる、創作人形作家のたかずさん。「私、小さい頃から人形づくりが好きでした。結婚して子育て中はいそがしくてね」



森のなかの妖精たち
あなだに逢える日 待ってます

創作人形作家 たかずこの世界

おとぎの国へ ようこそ

二人の子供たちも手を離れてきたので、人形づくり始められた子供たちにも夢を与えたい。気軽に生き生きと。子供たちも、頑張っていて励ましてくれています。それが心のささえとなつて、たかずさんは嬉しそうに、にっこりと。

いろいろな動物たちを擬人化して、小びとや魔法使いのおばあさんやも出てきて、たかずさん流の感

▼威権に満ちた出で立ちで、でも、ちょっぴりユーモラスな小人たち。



つのだかずこ 創作人形展

平成16年 12月2日(木)～12日(日)まで

杜の家ギャラリー
営業/木・金・土・日
AM10:00～PM5:00
長野市若槻東条560-1
☎026-295-6166

〒385-0011 長野市若槻東条560-1
SBC通り ●SBC

性で、おとぎの世界が広がります。年に何回か各会場で「つのだかずこ創作人形展」が開かれています。機会があったら是非ご覧ください。

牟礼村坂口三二二
二五三〇八四八
つのだ かずこ

好評! とも かい
アイセレモニー **智の会**

特典多数あり! 安心です!

●お問い合わせ ☎253-1377 (長井)

水 談 義

四季の移りかわりがはつきしている信州の風土は、水が醸し出す様々の天然現象は、私たちの生活に強い影響を与えています。

とくに稲作を生業の基本としてきた関係も手伝って、水は稲作を作るよりどころであるから、生きてゆく原点であり、根源であると考え、崇められてきました。良質の水が得られるかどうか居住地選択の最優先的条件でもあったわけですね。

水は豊かでも乏しくても日常生活に深くかわり合いをもっているため、これが民俗に反映するのは当然で、水の浄ふつ力は種々の信仰儀礼にも応用されています。

たとえば、禊ぎ(みそぎ)は身についた汚れを流し去る意味で神祭に先だつて心身を清浄に保ち、神霊を迎えもてなすため、御手洗場(みたらいし)で手を洗い、口をすすぎます。私たちが毎日なげなく顔を洗い、ひと風呂浴びて清々とした気持ちになるのは、いつの間にか身についた禊ぎの習慣にほかなりません。

Y T が感じたこと

女性 偉い

今も昔も

葬儀の仕事に携わって約二十年。最近つくづく感じるのは、女の人は偉いなと思う事です。

葬儀が発生すると誰に言われなくても、かつぼうぎを着て、掃除、片付け、買い出し、料理の心配、お茶出し等、男衆の何倍も仕事をします。

山間地に行くと、必ず庭にでっかい釜出して、そばをゆでたり、ぜんまいとつきこんの煮物作ったり、白あえ作ったり・・・で、男衆はと言うと、一杯やりながら、葬儀の打ち合せです。まあ、その中に私も入っている訳ですが、よく見るとずーっと

飲んでる人も何人かいる訳で、台所くらい手伝えばいいのに、って思っています。

今では通夜の席でもオードブルや寿司などは私達で手配して用意します。それでも天ぷら作ったり、きんぴらやったり、サラダ(なぜかポテトサラダ)作ったり、通夜の間に盛りつけしたり・・・、私のように台所仕事の好きな人(いつともやらされている)は、そっちの手伝いをしたくなります。今時の若い女性も、そういう時はちゃんと手伝って覚えていきますよね。

葬儀は、私たちがかなりの事までお手伝ができますが、やはり女性陣に厄介をかける事は今でも多いと思います。

今はお斎も式場で出来る時代です。お父さん方、どうでしょうか、自分達でお酌ばかりしてないで、女衆に感謝して、みんなでお酌して回して下さい。



シリーズ名刹をたずねて

「報恩感謝」

曹洞宗

水沢山

貞林寺

信濃町大井(稲付)

今から四百二十年前、真言宗の僧 観庵丹察和尚がこの地に錫を止め、村人数人と新田開拓をし、五輪山に草庵を建てたのが貞林寺のはじまりといわれます。

そして六代を終った慶安元年、雪溪南盛和尚が現在地に堂宇(お堂)を移築、曹洞宗に改宗し開山となり、長野市吉田盛伝寺の末寺となる。江戸時代徳川家光のころから今日まで、改宗から数えて三百五十六年脈々と法灯が相承されているのです。

貞林寺には数多くの仏像文化遺産が残され安置されています。これは他では見られない特徴です。長い寺歴に培われて檀信徒の皆様の信仰の深さが忍ばれます。



三十三身現観音

観音様は、さまざまな姿で現れて世の人々を救済して下さるので、普門大士といひ、また尊像も多種多様であり、これを三十三身現の観音様という。右=丹察和尚像(五輪山に草庵を建てた真言宗の僧) 左=雪溪南盛像(貞林寺を現在地に移築、曹洞宗に改宗された開山大和尚)



三門(山門) 平成十一年八月竣工
金剛力士像(仁王像)と、極彩色の十六羅漢・四天王が安置されている。必見!!

地域との交流に熱心な住職牧野弘臣(こうしん)さんは、昭和六十二年より「子ども坐禅会」を始められました。十年目を節目に子供達の感想文をまとめた小冊子ができています。

「むむたいけどがんばってござん会にいけます。あしがいたくなったりします。でも、おしよさまがおはなししてくれるから、ぜんぜんあしがいたくなりません」

「坐禅会をはじめから学校でもおちつきがでてきた。先生の話も聞けるようになってきたし、せすじもまっすぐになってきました。あたまもよくなり、これからもつづきたいです」 感想文には五十人以上の子供達の

率直な気持ちが続られています。最初は朝早く起きるのが辛いことから始まって、慣れてくると面白いとなる。その日は体の調子がよく、集中力が出て勉強もできるようなるなど、坐禅の効果も表われてくる様子がうかがえます。

この子供達も成人間近になってこれを読み、小さい頃の坐禅の体験を思い出してもらえれば幸いです。ご住職のお言葉です。

第二十世住職 牧野弘臣
信濃町大字大井九四六一(稲付)
電話〇二六一二五五二二七九



丸投げで特に問題になるのが、料金です。事前に見積書が無くて終了後に請求書を見てびっくり。事前に見積書があっても、終了後の請求書には追加料金が加算されていてびっくり。一方的にこれだけかかりましたよと言われ、ほとんどが「泣き寝入り」とのこと。
地元、古くからだからね、知合いも多いし、組〇員だからね。文句(苦情)のひとつも言えないんだよ近所の目もあることだし...

ご葬儀は
気易さで
丸投げは
後悔のもとです



貞林寺の仏像文化遺産を網羅してきたのカラーパンフレットを差上げておきます。お申込みは電話でもOK。ご参拝は安心です。大駐車場完備。

誰も望まないのに、大きな悲しみとともに突然に、必ずおとすれる、もの時。
この時、何もわからないからと言って、すべておまかせの「総合商社に丸投げ」があつた問題の尾を引いてしまいます。
人それぞれの人生があつたはずです。その人生の最後を飾るにふさわしい、自分らしいご葬儀にしたいものです。
丸投げで特に問題になるのが、料金です。事前に見積書が無くて終了後に請求書を見てびっくり。事前に見積書があつても、終了後の請求書には追加料金が加算されていてびっくり。一方的にこれだけかかりましたよと言われ、ほとんどが「泣き寝入り」とのこと。
地元、古くからだからね、知合いも多いし、組〇員だからね。文句(苦情)のひとつも言えないんだよ近所の目もあることだし...



日祭休み
昼11時~夜~深夜12時
☎227-4054
長野市七瀬中町216-3

【ひとくちMEMO】
華道は仏前に供える
花が元祖
壺に花をさす「いけばな」の源流は仏教伝来後、仏前に花を供えるといふ極めて純粹に宗教的な行事として伝わりましたが、平安時代以後に美的鑑賞を主とする風俗が広まって、今日に至っています。
花(華)道は茶道とならんで私たちの日常生活に最も身近なところで、日本独特の芸術のひとつとして開花してきました。現在、その流派の数は3千以上と推定されています。

誰にも 教えたくない店 ペーパームーン
ジャズといえば当店のマスター大村 孝氏はジャズミュージシャン。ベースの大家で、学生時代から東京でプロ活動。現在は長野中心にライブコンサートマスターを勤める。店内片隅にピアノ。ウッドベースがさりげなく。心地よいBGMは客の好みに関係なく、一度来たらやみつきになる。だから、「ご用心」
編集後記
当社は葬祭専門業として今年六年目を迎えます。地域の皆さまにはいろいろとアドバイス頂き、本当にありがとうございます。特に「I様」にはいつも心配をお掛けいたしまして、その都度励ましのお言葉をいただき心支えとなり、ありがとうございます。これからもこの細腕にムチ打って頑張ります。(長井)

喫茶に食事にアルコールに宴会にと多彩な店、ペーパームーン。日本語で直訳すると、紙の月、ロマンチックだねエ。ところが文字的にはなんと「ペテン師」のこと。だから、この店、誰にも教えたくなかった。
当店の奥さま若かりし頃(今でも若い)学生時代、新宿のジャズ喫茶「ペーパームーン」に傾倒。とうとう自分で開店してしまつた。今から二十数年前のことだそう。だから「女は恐い」
ジャズといえば当店のマスター大村 孝氏はジャズミュージシャン。ベースの大家で、学生時代から東京でプロ活動。現在は長野中心にライブコンサートマスターを勤める。店内片隅にピアノ。ウッドベースがさりげなく。心地よいBGMは客の好みに関係なく、一度来たらやみつきになる。だから、「ご用心」

という極めて純粹に宗教的な行事として伝わりましたが、平安時代以後に美的鑑賞を主とする風俗が広まって、今日に至っています。
花(華)道は茶道とならんで私たちの日常生活に最も身近なところで、日本独特の芸術のひとつとして開花してきました。現在、その流派の数は3千以上と推定されています。